寫眞週報

内閣情報部編輯
三月十五日・第五十六號・十セン

日本の懷に抱かれて

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

東亞新秩序建設運動華僑大會

『東亞新秩序運動週間』第一日――留日華僑は現地で行はれたこの週間に呼應して新東亞建設に華僑も協力せよと三月三日九段軍人會館で『華僑大會』を開催した。

現在の國際情勢からみると中國は頼むに足らぬ歐米を頼み親しめないソ聯と親しみ、最も親しみ頼らなければならぬ日本と相爭つたことは最も拙劣な策をとつたものである。國民政府が大言壯語コミンチルンの傀儡となつて抗日戰をした結果、人民は妻子を離散し、轉々として安住の地を失ひ、共匪は各地に跋扈し暴虐の限りを盡してゐる。この混沌とした狀態の繼續は中國を滅亡に導くものである。今や東亞新秩序の建設に向つて眞劍に考ふべき秋である。これは同大會で述べられた留日華僑の東亞新秩序建設に協力する力強い叫びであつた。

さきにわが國は滿洲國の發達をたすけ世界史に新らしい一頁をつくつた。建國七年目滿の固き防共の陣營は確固不拔である。また日支事變發生以來帝國が戰場に幾多の貴き生靈を喪ひ、多くの國帑を費してなほ聖戰を續けてゐるものは隣邦支那を歐米、ソ聯の植民地化から救ひ完全な獨立國家として眞に日滿支を樞軸とした東亞永遠の平和を希ふからである。かうした帝國の對支方針は近衛前內閣によつて數回にわたつて中外に聲明され、またその眞意は平沼現內閣の踏襲してゐるところである。最近帝國の眞意に醒める者漸く多く、澤濤として起つて來た共同意識――日滿支三國は政治、經濟、文化等各般にわたつて相互連環の關係にたち、東亞における國際正義の確立、共同防共の達成、新文化の創造、經濟結合の實現に邁進し東亞新秩序建設に協力しようといふ機運は根强いものがある。

今や蔣政權は奥地に逃避し全く一地方政權と化しながらなほも焦土抗戰によつて善良な支那民衆の生活を破壞し、第三國を利用しようとして却つて國を賣りつゝあるのである。この頑迷なる國民政府を相手とせず、新しい建設の營みは着々として進められて行く。東亞新秩序の建設――これは曉古の大事業であり、日滿支を始め東洋諸民族に課せられた大きな課題である。

この時において留日華僑の東亞新體制樹立の實際運動と支那民衆の間から翕然と叫ばれて來た東亞新秩序建設協力の聲はこの空前の偉業完成に力强い拍車をかけるものである。

撮影 內閣情報部

華僑に興亞の春

＝横濱＝

横濱の南京街に副都として誇る五色旗の庇護に依つて平和に、孜々として生業を勵んでゐる、明るい双眸を輝かせ、更生支那の發展を心から祝福するにつけても、思ひ出さるゝは戰禍に喘ぐ故國の同胞達である。彼等はさけぶ。『故國の兄弟よ！　永遠に苦惱から救はれる道は、東亞新秩序の一環として新しい中國を建設するにある』

⇧横濱山下町、南京街の朝市は華僑の賣出しに賑はつてゐる。戰禍に家を失ひ、田野は焦土と化し彈地に流離する故國の民衆と比べ華僑の胸は感謝にうづいてゐる。

撮影　內閣情報部

⇧—故國の陳さんや、孫さんはどうしてゐることだらう。あの息子さん達もお前と丁度同じ年恰好だつたが——語る母親は遠く故國を偲んでゐる。籐椅子逸りの平和な一家に春は訪れてゐる。

⇧『私どもは輸出業で、日本商品を通じて世界各地の華僑に日本の良さを宣傳してゐます……そういふわけで觀遠元の方にも勉强をお願ひしまして——』接待係りの結綿は商賣上手である。

⇧少女等が結ぶ日華親善鳳景。『私等は仲良くして東亞の姉妹となりませう』横濱市山下町愛國少女團發會式に交はした少女の握手は日華の魂心を堅く結びつける。

⇧陳子に貼られた『迎年平安』の赤紙は新らしい年を寿ぐ華僑の正月風景である。狹いながらも遠く國外で味ふお正月（舊正月）は一入の感慨がある。おやつに卓を圍む一家は安居の微笑に和かである

⇧『よくお出で下さいました。粗茶ですが、どうぞ』心待ちにしてゐた日本のお友達を迎へる劉夫人は喜びに滿ちてゐる。五色旗の下に日華の婦人は心から語らひ、春陽差す疊の上に日華親善の明るい光は照りかゞやく。

濟南に聽く
建設の響き

東京日日社に連載してある濟南三角洲の絵に位した濟南の城内は荒廃と盛りなく、洋軍の住宅も美しく、商工業の再引も活潑に城外の小清河々畔には柳が春の光を浴び一杯うけて長閑に靡いても居る。

敵軍に奪はれた橋、破壊された道路の復興建設に燃えるわが強い意の表示、長閑な春の空氣をナツてゐる。

建設の正義に心酔した士民、勝利あるわが皇軍兵と協力、勝利不滅の不に誇らされた建設、建設の偉業工事にいそしむ姿は新生大陸への行進であらう。

1 土民、歸順兵で組織された工程隊、新しい東亞の黎明にスコップを打込む勢揃ひ。

2 シャベルに盛られる土塊は東亞新體制の礎石となり、和平に悲む大濟南の誕生である

3 あの橋は燒かれてしまつた。『俺も困る、皆が困るんだ』木は削られ架橋工事は進む。

4 『ヨイシ』『ヨイシ』わが工兵隊の指導でかけ聲も日本流に、気合もぴつたり、架橋木材切りに工程隊員は汗ばむ。

5 濟南の發展は城外の道路から。野原に創された道路の建設工事は進む。長部隊長旅に濟南の春は微笑む。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大陸に勇士のお手傳

前線の皇軍將兵に對する心からの感謝と、燃えるやうな報國の赤誠から直接現地の軍役奉仕に身を捧げ、たとへ短期間でもわが勇士の御手傳ひをしたいと、一月二十九日勇躍大陸に向つた大阪府下青年學校生徒からなる大阪府青年軍役奉仕隊一行三百名は、豫定の通り上海、南京、蚌埠、蕪湖の各地で青年らしい眞心溢れる慰問と、軍需品の運搬、道路の修繕、兵舎内の炊事、經理等に力の限り熱意をこめての軍役奉仕をつゞけ、二月二十六日、大陸やけの頬も元氣に一行は堂々大阪に歸還した。

戰地ではわが將兵がどんな勞苦と闘ひつゝ大陸建設に從事してゐるか、新聞やラヂオやニュース映畫などでは見聞きしてゐても、はじめてそれを身を以て知つた體驗は貴い。いま感激に滿ちて歸還した若人たちが、この現地でのみ得られる貴い體驗を今後の銃後長期建設戰へ生かしての活躍か大いに期待される。

⇧ 陸揚げして山と積まれた食糧品を夫々の部隊へ運搬配給することは兵站部隊の勇士にとつて中々骨の折れる仕事である。今日は傷等の手で兵隊さんの食糧を一感謝で一杯の心が重い荷物を懸命に運ばせる。

撮影 上海プレス・ユニオン

⇩ 南京の水の門戸、下關には南京建設のための軍需品が莫大に陸揚げされる。奉仕隊の一部はいま鍛の勇士に指揮をうけつゝ石炭の陸揚作業に從事する。

⇧ 内地から屆いた温かい慰問文や慰問品、戰地の勇士が郷里へ書きおくる便りで野戰郵便局はごつたがへしてゐる。待つ人へ待たれる品を、手紙を一時も早くと奉仕隊は懸命に働きつゞける。

⇦ 折角屆いた慰問品は包裝不完全のためかすつかり傷んでゐる。第一線で待つてゐるであらう勇士のことを考へて、奉仕隊員は汚れた荷札も書き直す。

⇩ 銃後青年代表の名譽を擔つて感謝と報國の軍役奉仕に嬉々しくも遙々大陸の土を踏んだ一行はいま感激に滿ちて南京に到着した。

敵が無殘に破壞していつた道路や橋梁の修理に皇軍將兵はいま非常な努力を拂つてゐる。青年奉仕隊は勇士の勞苦を思ひながら架橋材料の運搬を手傳つた。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

日本の懷に抱かれて

隣邦の孤兒は育つ大阪悲田院

今日は健康診斷、身體檢査表を一枚づゝ持つて、日本の看護婦さんのはかつてくれる臺秤を珍らしさうに眺め入る。

四天王寺悲田院は昨年復興新築されたばかり、家を失つた哀れな隣邦の子供たちにこの美しい慈愛の家が與へられた。いま昇る旭日に高々と揚揚される日章旗と五色旗に小さい胸をきりゝとしめる。

子供たちは毎朝六時半一齊に起床、國旗揚揚をすませると本堂に集つて保護所主任森田潮應師の指導で朝の勤行に敬虔なひとゝきを過す。いま勤行を終つた森田師と、先生の鄭玉君女史と、無淑眞女史（右）

『アーンと口を開いて、ほら痛いだらう、齲齒が一本ある。おぢさんがこんど治してやらうね』おぢさんの言葉はまだ分らなくても、愛護の眞心は通じる。

撮影　內閣情報部

御飯を頂く前には森田師にならつて小さい手を合はせ感謝の默禱をしばし、わづかな物をも奉ひ合つて食つたあの頃のことと豐かに與へられる今とを子供心にしみ〴〵と思ひ比べる。

その昔、聖德太子が大慈大悲の御心に燃えて世の悲まれない衆生のために建立されたといふ大阪府下藤井寺の四天王寺悲田院に、いま抗日支那軍によつて非道にも親を奪はれた憐れな支那の孤兒が七十名ばかり、溫かい日本の情けに抱かれて育てられてゐる。

東亞に新秩序を建設するといふ大業は日本人の力ばかりで成し遂げられるものではない。また支那幾億の無辜の民を不幸の淵に沈淪させたまゝで成就するものではない。われらの心と支那民衆の心とを固く結び、彼等の不幸をわれらの不幸とする日本精神を以てしなければならない。事變勃發以來、皇軍は刃向ふ敵に對しては斷乎として軍を進める一方、所在に目擊される不幸な民衆に對しては救濟と宣撫に能ふ限りの力を盡してきたが、殊に哀れをそゝるものは父母を失つて廣漠たる大陸に寄邊なく彷徨する孤兒の群である。これら數の孤兒を親代りとなつて引取り、育ててゐるわが宣撫班の努力は涙ぐましいばかりである。

こんど大阪に生れた隣邦孤兒愛護會はせめてこれらの哀れな孤兒の幾人かを日本に伴つてきて溫かい環境のうちに愛育し、將來新支那建設の中堅人物たらしめようと、とのほどまづ北支の各地から五歳以上十歳未滿の男女兒約七十名を四天王寺悲田院に收容、今後十ケ年間の教育を授けることになつた。

元來、孤兒を育てることは難事中の難事といはれてゐる。殊に言語風俗を異にする支那の孤兒を育てあげるには非常な努力と限りない愛情を以て當らねばならない。が、この努力と愛情は必ずや實を結び、東亞新秩序に加はるべき新らしい力を生むであらう。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

日本の懐に抱かれて

日本を勉強するにはまづ日本語から。日本語の先生は森田師である。『ヨ、イ、オ、テ、ン、キ、デ、ス、ネ』明るい聲が窓から桃畑にひろがつてゆく。

⇦

體操の時間、運動場には鐵棒もある、肋木もある、木馬もある。悲しかつた頃のことはすつかり忘れて天真爛漫、叫び聲と笑ひがざわめきあがる。

⇦

桃のお節句を迎へてやさしい心づくしの飾りは女の子たちをあつと驚かせた。『まあきれい』こんなにまでしてくれる日本の親切に幼い彼女たちの目は人知れずうるんでゐる。

⇦

⇧

ぽか〳〵と陽あたりのよい庭に出て先生から日本のお話をいろいろと聞く。桃畑の彼方には松林が美しくつゞいてゐる『日本つていい所だなあ』子供たちの心は明るい。

近所の日本の子供たちとも仲よしになつた。子供の心は言葉の不自由を越えてすぐ結び合ふ。『明日あたしのうちへ遊びにいらつしやいね』『嬉しい』

⇦

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

海外通信

新らしきスペインの黎明來たる

スペイン通信・3

フランコ軍の進撃に士気全く沮喪した約廿萬の赤色人民戰線軍は佛西國境に迫ひつめられ、遂に二月五日からカタロニヤ州を棄て雪崩の如くフランス領に逃入を開始した。故建の赤色兵士はフランス官憲に一齊に武裝解除された。

スペイン通信・1

赤色人民戰線側の支配から脱したバルセロナはカタロニヤ人傳統の建設的意志によつて再び力強い息吹きをとりもどさうとしてゐる。

無慚に破壞されたバルセロナの街々も今はもうフランコ政府ファランヘ隊の指導の下に着々復興への歩みをつづけてゐる。硝煙の血なまぐさい想ひも日々にうすれ、春の陽ざしにめぐまれながらあたたかい珈琲ものめるやうになつた。

本年一月廿六日のハルセロナ陥落を契機として人民戰線側は總崩れとなり、實に足かけ四ケ年スペインの騒亂はフランコ政府の輝々たる勝利を以て終末を告げようとしてゐる。

新らしいスペインの誕生は又國際情勢に新らしい秩序を齎すことになりイベリヤ半島には防共の旗かいよ〳〵高く誇つてゐる。

スペイン通信・2

フランコ軍快速部隊は破竹の勢を以てカタロニヤ北部地區を席捲バルセロナ北方の要衝フイゲラスを拔き、二月九日遂にピレネー山脈の佛西國境レベルタスに達した。

寫眞協會

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ドイツのパラシュート學校

⇧ 飛行機の戸口から大空へ向つて飛び出すには相當の度胸が要る。この度胸ならしのためにまづ室内で畳の上から安全綱をつけて何度も飛降りの練習をする。

⇩ 又パラシュート降下の時には自身の重みと風のためにひどく搖られて苦しいものだ。そのときの準備訓練として天井から吊り下つた綱にぶら下つて搖れの練習をする

⇧ これが濟むといよ／＼本物の飛行機から飛降りる。びくびくしないでかういふ風に勇敢にとび出すのである。背についた紐はパラシュートを安全に開く裝置である。飛行機の高度八百米、速力百六十キロ時。

宮崎協會

武藤の歩兵を幾十、幾百機の爆撃機からふり撒いて敵の後方を攪亂しようといふソヴィエト軍御揚量のパラシュート作戰に抵抗して、今度ドイツ・サクソニーのステンダールに世界最初のパラシュート學校が生れた。

パラシュートは航空機搭乘員の生命の安全を保證するといふ消極的な役割から積極的に參戰する強大武器の制覇に用ひられるやうになり、現に支那大陸の戰線ではわが航空部隊が盛んに用ひて効を奏してゐる程、（本誌昨四十三號「空の兵站線」參照）更に歩兵にパラシュート降下訓練を施してこの飛降を大型航空機に搭乘し一気に敵の背後に傾んでパラシュートで降下させ敵の後方攪亂を謀らうといふ所謂パラシュート作戰が研究されてゐる。

英米軍に於ける勝利の鍵は空軍力にありといふ建前から大空軍養成に邁進してゐるドイツはこの奇襲作戰に着眼してその組織的訓練に乗り出し、空襲ける歩兵部隊を育成のために世界最初のパラシュート學校を創設したのである。

快翔する飛行機の胸のあたりから次々ととび出した黒いものは猛烈な勢で降下したかと思ふとパッパッと見事にパラシュートが開いて悠々と降りてくる。

⇧ さて足が地に着くと、風をはらん対大きなパラシュートに曳きづられないやう、ぐつと紐の一部を引張る。すると、パラシュートは風を失つて萎む。

⇩ それと同時に彼等は眼のベルトを素早く外して攻撃の姿勢をとる。いはまだ丸眼のまゝの練習だが、やがて銃も、機關銃も持つて本格的の奇襲演習がはじまることだらう。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニッサン トラック

強いエンヂン
木炭車として最適

東京・日産自動車販賣株式會社・丸ノ内

☆！書讀必の下局時——纂編局濟經社信通盟同 法人 社團 ☆

蔣經濟の退路

〔最近の豪洲〕日本全土の十一倍もある廣大な土地を持ち、豐富な資源を埋藏してゐながらその開發に「自然」を示さない國、人口一方哩僅かに二人といふ稀薄さに拘はらず"白濠主義"の夢を圍つて有色人種を一切閉め出してゐる國——それで居て"日本侵略"の妄想に絶へず目を怯えてゐる國——これが濠洲である。濠洲人の日本に對する認識は極めて幼稚なものである。然し濠洲が日本を知らぬ如く、われ／＼の濠洲に對する智識も未だ／＼充分とは云へない。濠洲の實情を知つて置く事は東亞の、やがては安全勢力たるべき日本にとつて極めて肝要な事ではないか。本稿は本社シドニー支局長豐田治助君の筆になる現地報告である。一讀を乞ふてやまない次第である。

〔蔣經濟の退路〕蔣政權は今や歩一歩西南の奥地に通ずる運命を辿るべく、わが國としては益々本腰を入れて長期經營に乗り出すべき段階に到達した。然し乍ら蔣政權が對日抗戰のため過去一ヶ年半餘に亘つて採り來つた各種の戰時經濟政策、特にその退路を確保すべく懸命の努力を拂つた西南開發計畫は決して過少評價すべきでない。蓋し彼の退路は正にわが進路であり、進んで退路を斷つもよし、更にその政策にして用ふる足るものあらば逆にこれを利用するも亦妙であらう。この意味に於て蔣政權の戰時經濟政策に社會科學的再檢討を加へて置くことは緊急必要のことと信ずる。全國有識者の必讀を希ふものである。

目次
（一）蔣經濟の退路（編局）
（二）豪洲（豪洲）
（三）蔣の國家（三）蔣の國家
（四）蔣の國家（四）蔣の國家
（五）蔣の國家（五）蔣の國家
（六）蔣の國家（六）蔣の國家
（七）蔣の國家（七）蔣の國家
（八）蔣の國家（八）蔣の國家
（九）蔣の國家（九）蔣の國家

（定價各 ¥0.50・送料各6錢）

發行所 社團法人 同盟通信社
（九ノ八西座銀區橋京市京東 番〇〇〇五八京東替振）

御神火を迎へる花嫁パレード

宮崎市 岩切三五郎

紀元節の二月十一日早暁、霧峰高千穂を發した御神火を奉迎すべく宮崎市傳統のきらびやかな花嫁行列は鈴をつけた滿艦飾の馬二十頭に花嫁をすりと乘せ、氷雨そぼふる街道をシャンシャンシャンと練り歩きつゝ宮崎神宮に參拝そのまゝ夜に入り壮厳な御神火を奉迎した。

讀者のカメラ

讀者のカメラ應募規定

一、題材 國民精神發揚に資するもの、一枚にても組寫眞にても可
二、印畫の大書き なるべく六ツビネ判程度が好ましく、裏面に寫眞說明及び住所氏名明記のこと
三、締切 毎週火曜日
四、寫眞 内閣情報部賞金賞又は金五圓以上の賞金を與へる
五、應募作品は一切返還せず、また複寫寫眞印畫の複製は當部に關知せず

『竹割り祭』華々しく執行

石川縣大聖寺町 堀 砂

日本精神發揚週間の二月十日天下の奇祭、石川縣、斉生石部神社の『新嶺神事竹割り祭』は折からの白雪に淨められた齋庭に武運長久祈願のみそぎの姿も神々しい人々により華々しく執行された。

雪だるまコンクール

東京市京橋區 加藤 恒

國際スキー場妙高温泉に紀元の佳節を卜して行はれる恒例の雪だるまコンクールは、事變下の今年、殊に時局を反映した出品多く、やはり陸海の兵隊さんをモデルにしたのが一番人氣があつた。全町内で各戸の出品を審査の結果、一等賞の榮冠は『戰場美談二人三脚』に授與された。

寫眞週報（禁轉載）

昭和十四年三月十五日印刷發行
編輯者 内閣情報部
東京市麹町區永田町 内閣印刷局内
印刷者 内閣印刷局
東京市麹町區永田町
發行者 内閣印刷局
東京市麹町區永田町

定價
一部 十錢
半ヶ年（前金）二圓四十錢
一ヶ年（前金）四圓八十錢
（外國郵便に依る場合は半ヶ年九圓十二錢、一ヶ年十八圓六十錢）
半ヶ年分未滿配送御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

申込所
内閣印刷局發行課
電話丸ノ内(23)三五一一九
振替東京一九〇〇〇
全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
各書店・驛賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

寫眞週報

食料紙——

白い狐犬にゆら〳〵陽炎が立つて、南京郊外中山陵は長閑かである。理智的な顔をもつた姑娘がふとカメラの前に現はれてにつこり笑つた。彼女はいま電波による新支那建設に戰ひつゝけてゐる南京放送局のアナウンサー嬢であつた。

撮影 内閣情報部

家畜週報 昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十四年二月十五日發行（毎週一回土曜日發行） 第五十六號

ハリバ

兒康健は子む服

一日量

潑剌として走る…跳ぶ…遊ぶ

發育盛りの兒童こそ、家の寶、興亞の礎です病氣知らずの健康兒童を創るには何よりも脂肪性の榮養を充分にしてヴィタミンADを補給し、呼吸器や胃腸の粘膜防壁を強め、病菌に對する抵抗力を增强することが大切です。

かやうな目的にハリバが盛んに用ひられます。從來の鱈肝油に比べ數十—百倍も濃厚なヴィタミンAとDとを含む高單位肝油を小豆大の糖衣粒としたもの…一日僅か一—二粒、臭くなくお腹にもたれず、肝油嫌ひなお子さまにも永く飽きずに連用出來ます

錢十五圓二…粒百
錢十五圓十…粒百五

東京・大阪 田邊商店

內閣印刷局印刷發行

（制作「報週」・A4格規定圖はさ大の書本）